

令和8年度

幼児教育・保育アドバイザー
兼架け橋コーディネーター
相談・支援事業

活用の手引き



神奈川県架け橋センター

「幼児教育・保育アドバイザー兼 架け橋コーディネーター相談・支援事業」とは

神奈川県教育委員会の幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーターが、市町村教育委員会、市町村幼児教育・保育主管課や小学校及び幼児教育・保育施設等からの依頼に応じて、研修や協議などを行い幼児期及び架け橋期の教育・保育の質の向上に関わる課題等について共に考え、教育・保育の充実を目指す事業です。

幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーターってどんな人？

幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーターは、幼児教育・保育、小学校教育に関する豊富な経験をもつ人です。

幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーターの役割は？

【役割①】市町村及び幼児教育・保育関係団体などの研修会や園内研修及び校内研修等のサポート、研究会での助言

○幼児教育・保育施設と小学校との交流、連携の課題、研修や研究テーマについて、一緒に考えたりアドバイスをしたりします。

【役割②】相互参観（保育参観・小学校1年生授業参観）でのアドバイス

○幼児教育・保育施設と小学校の先生が互いに参観し合う相互参観で、架け橋期の教育・保育や交流・連携について一緒に考えたりアドバイスをしたりします。

【役割③】観点に基づいた保育参観とアドバイス

○保育参観し、テーマに沿ってアドバイスをします。

費用や準備は必要？

費用は架け橋センターが負担するため、依頼した市町村教育委員会、市町村保育主管課、小学校、幼児教育・保育施設等の負担はありません。

また、一律に必要な準備等はありませんが、研修会などの訪問内容によっては資料や機器の準備をお願いすることがあります。

幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーター 相談・支援までの流れ

1 相談・支援内容を決める

○幼児教育・保育施設と小学校の交流・連携や日々の教育の中で困っていることを相談・研修内容として、以下の中から1～2項目程度に絞ってください。

＜相談・研修項目＞

- ①乳幼児理解 ②乳幼児への援助 ③環境構成 ④記録 ⑤指導計画 ⑥クラス経営
- ⑦架け橋期の教育・保育 ⑧配慮を要する乳幼児の支援 ⑨その他

2 相談方法・日時・会場を決める

○相談方法：研修会等への派遣、オンラインによる相談を選択してください。

【研修会等（オンラインでの研修会を含む）】

○日時・会場：午前9時から午後5時の間のできるだけ多くの教員・保育士等が参加できる日程・会場を計画してください。

・同一依頼者で、1年に3回まで訪問を希望することができます。複数回の訪問を希望される場合は、効果的な訪問になるよう1か月～数か月の間隔をあけて計画してください。

○所要時間：1回2～6時間で計画してください。（昼食休憩は1時間）

・半日研修（2～3時間）：《例》助言、講義、協議、相談等

・一日研修（4～6時間）：《例》保育観察・相互参観＋振り返り・グループ別協議・助言等

【オンラインによる相談】

○日時：御都合のよい日程を確認してください。

（御希望に添えない場合は、架け橋センターから御連絡いたします。）

○所要時間：1時間程度

※Zoomを使用します。後日、決定相談日時とともにZoomのID・パスワード等を送付します。

3 「幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーター相談・支援依頼書」（様式1）を提出

○相談・支援依頼書をメールにて提出してください。提出先は、巻末に掲載してあります「『相談・支援依頼書』の提出方法について」のとおりです。

○市町村教育委員会及び市町村保育主管課は、「6 希望日」の欄に同行の有無を記入してください。

4 訪問内容についての打合せ

○依頼者の希望に沿って相談・支援ができるよう「幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーター相談・支援依頼書」に基づいて具体的な相談・研修内容や当日の流れについて、架け橋センターの担当者と打合せを行います。

○後日、訪問日程が決まり次第、架け橋センターから訪問についての通知をメールで送りますので確認をお願いします。

5 訪問当日

○幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーターが訪問し、保育参観・授業参観や話し合いを通して、相談・支援内容について共に考えたりアドバイスをしたりします。

6 「幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーター相談・支援アンケート」（様式2）を提出

○相談・支援を利用した施設等が直接該当欄に必要事項を記入の上、終了後1か月以内にメールにて提出してください。

○提出先 架け橋センター k-sidou.4027@pref.kanagawa.lg.jp

○幼児教育・保育施設・小学校を訪問した際は、訪問内容について、架け橋センターと市町村教育委員会・保育主管課とで共有します。

幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋コーディネーター活用例

例1 実践報告&講義・研究協議

【訪問のねらい】

地域の幼児教育・保育施設と小学校が協働し、「架け橋期のカリキュラム」の作成に取り組む。

【当日の流れ】

14:00 日程及び内容の確認、
実践報告
14:20 話し合い、意見交換
15:30 振り返り・助言
16:00 終了

【内容】

- ・小学校と幼児教育・保育施設との交流・連携の取組事例の成果と課題について
- ・子どもの育ちを中心にした、地域での「期待する子ども像」について
- ・小学校と幼児教育施設と小学校が共通の視点（育みたい力）をもって作成する「架け橋期のカリキュラム」について

例2 保育参観・授業参観&振り返り・研究協議

【訪問のねらい】

幼児教育・保育施設と小学校の教員等が、育ちや学びの連続性の観点から保育参観や授業参観を行い、意見交換をして幼児教育・保育と小学校教育について相互理解を図る。

【当日の流れ】

13:20 日程及び内容の確認
13:30 保育参観または授業参観
14:30 意見交換、助言
16:00 終了

【内容】

- ・幼児教育・保育で育んだ育ちや学びをつなぐ架け橋期のカリキュラムについて
- ・保育・授業参観での子どもの姿と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について

例3 保育参観&振り返り・研究協議

【訪問のねらい】

子どもの育ちや発達に応じた保育者の関わり方、特に環境構成や保育者の関わり等、幼児教育・保育の基本について確認する。

【当日の流れ】

10:00 日程及び内容の確認
10:15 保育参観（室内・屋外遊び等）
12:00 昼食・休憩
13:00 振り返り・カンファレンス
15:00 終了

【内容】

- ・子どもの思いや遊びへの意欲を尊重した保育者の関わり方について
- ・子どもが遊び込める環境構成について
- ・指導計画と教育・保育の展開について
- ・一人ひとりの子どもに応じた支援について
- ・園内研修の進め方や工夫について

「相談・支援依頼書」の提出方法について

公立小学校・公立幼稚園・保育所・認定こども園（私立幼稚園型認定こども園を除く）
依頼書提出の流れ

公立小学校

公立幼稚園

保育所

認定こども園

※ 市町村教育委員会・保育主管課等、市町村が
指定する窓口へ依頼書を提出してください。

市町村教育委員会指導事務主管課・市町村保育主管課

※ 教育委員会指導事務主管課で最終的に依頼書を
取りまとめ、教育事務所へ提出してください。

教育事務所

神奈川県架け橋センター

提出先メールアドレス k-sidou.4027@pref.kanagawa.lg.jp

私立小学校・私立幼稚園・私立幼稚園型認定こども園
提出の流れ

私立小学校

私立幼稚園

私立幼稚園型認定こども園

神奈川県架け橋センター

提出先メールアドレス sigaku@pref.kanagawa.lg.jp

※上記以外の申請者については、子ども教育支援課までご提出ください。

提出先メールアドレス k-sidou.4027@pref.kanagawa.lg.jp

問い合わせ先 神奈川県架け橋センター

(神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課内)

〒 231-8588 横浜市中区日本大通り1 TEL : 045 (210) 8223 (直通)

電子メール : k-sidou.4027@pref.kanagawa.lg.jp

【担当 : 子ども教育支援課・次世代育成課・私学振興課・総合教育センター】